

資料1

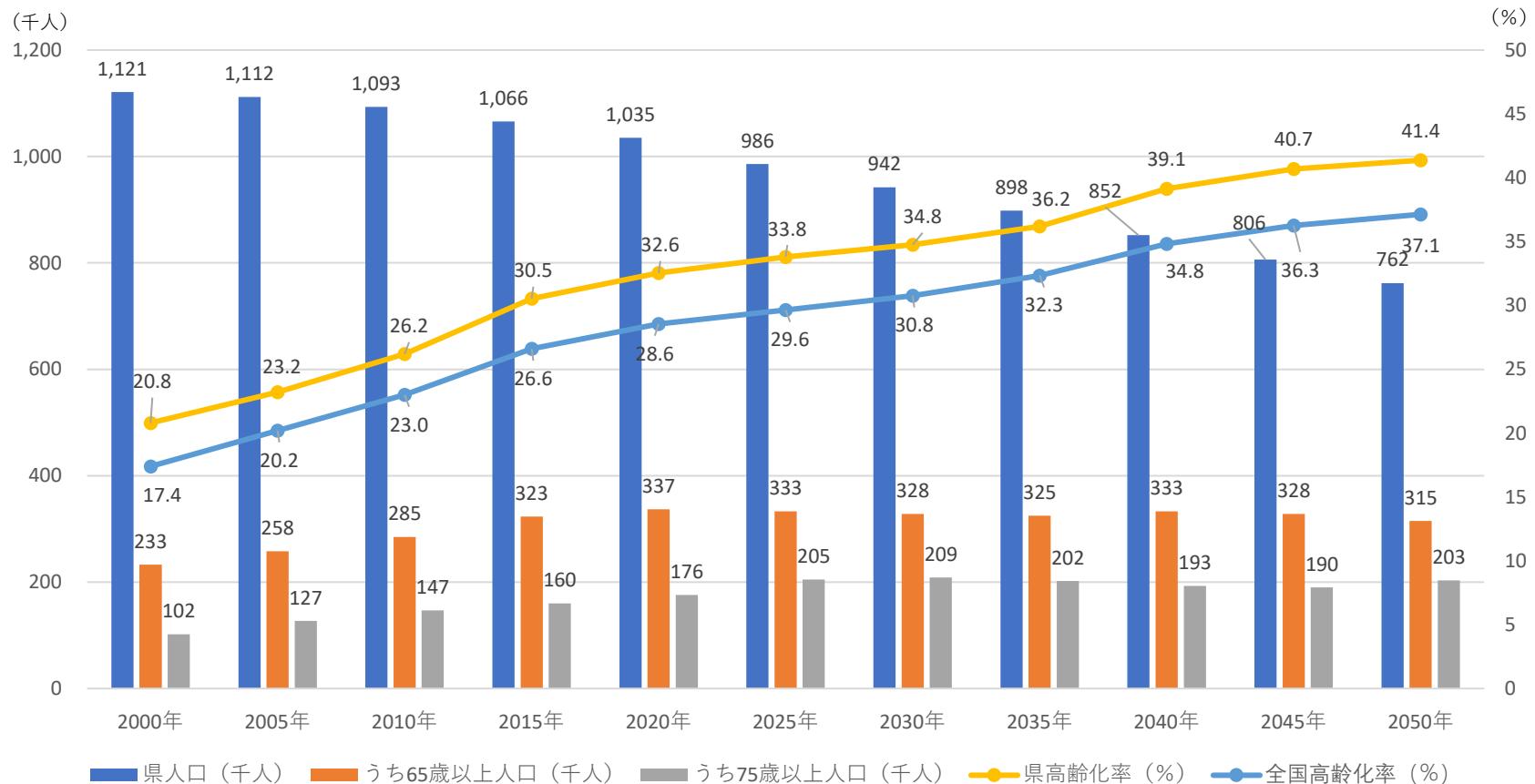
令和7年10月23日(木)開催

令和7年度第1回富山県がん対策推進協議会

本県におけるがんの現状

富山県の人口と高齢化率の推移

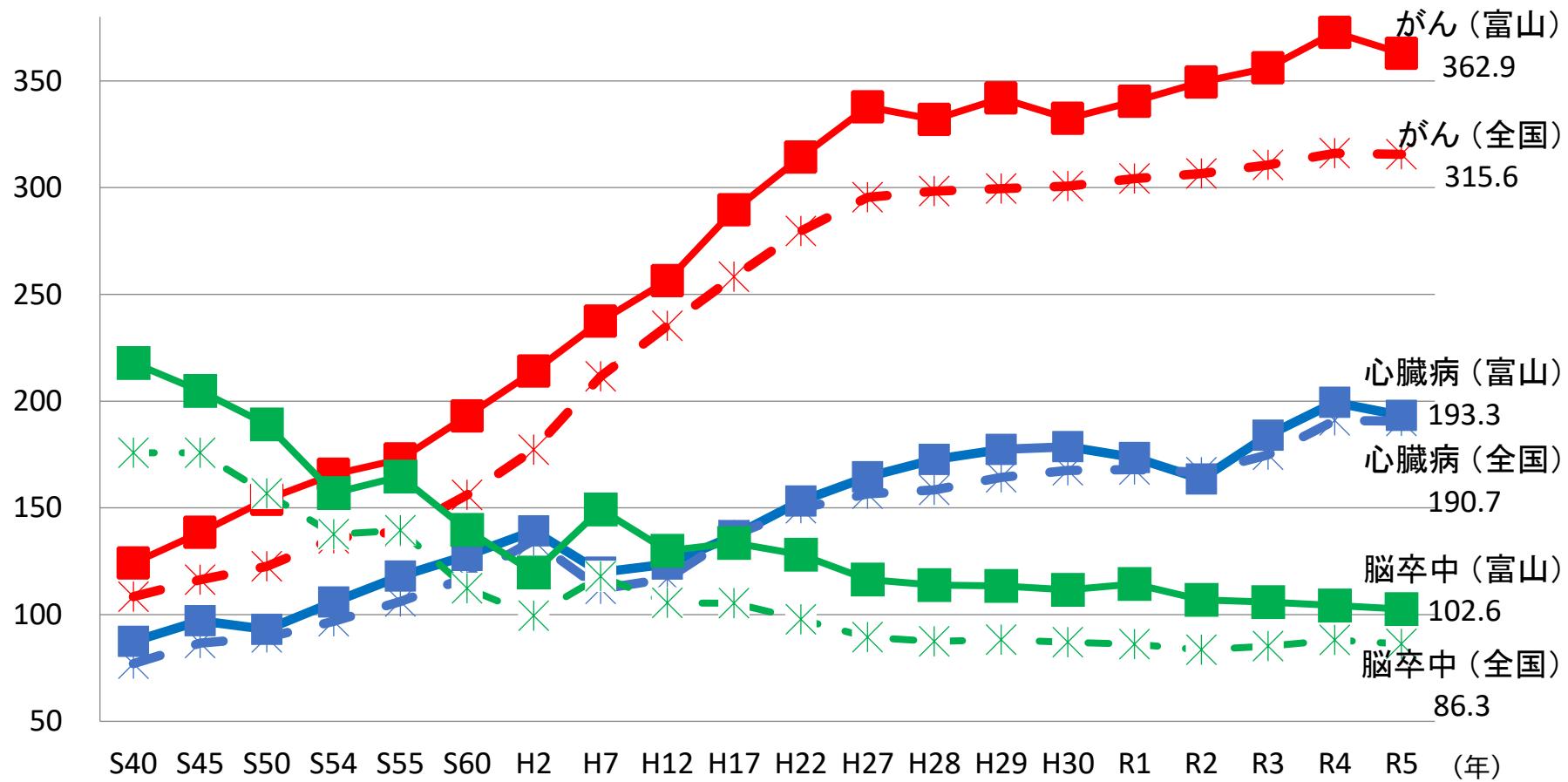
- 富山県の高齢化率は増加傾向にあり、全国値より高く推移している。
- 今後も人口減少は続くが、高齢化率は上昇すると見込まれている。
- 医療・介護ニーズの高い75歳以上人口は、2030年頃にピークを迎える見込み。



[資料] 2015 年までは国勢調査（総務省）（割合は、総人口から年齢不詳を除いて算出）
2020 年以降は日本の地域別将来推計人口（2023（令和5）年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）

富山県の主要死因別にみた粗死亡率(人口10万対)の推移

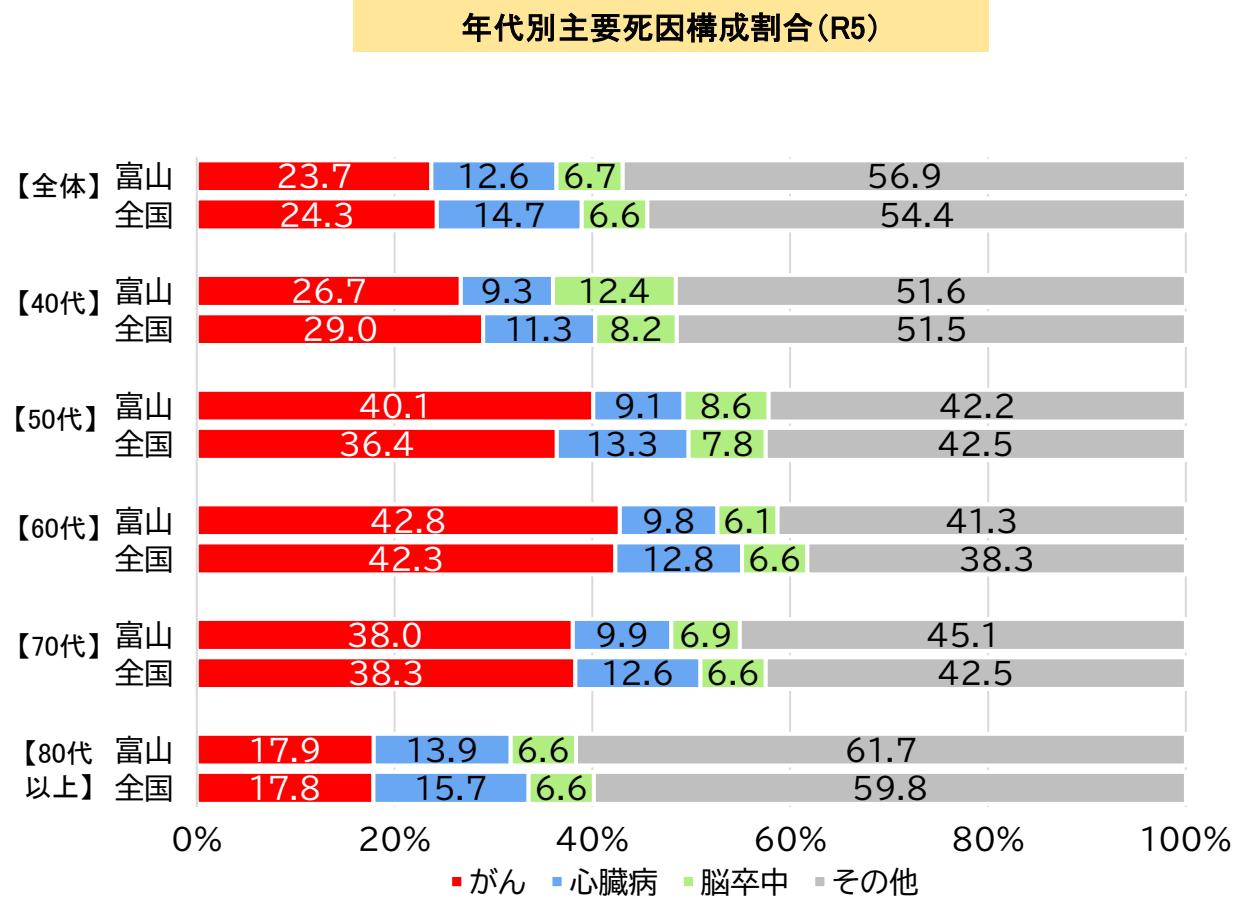
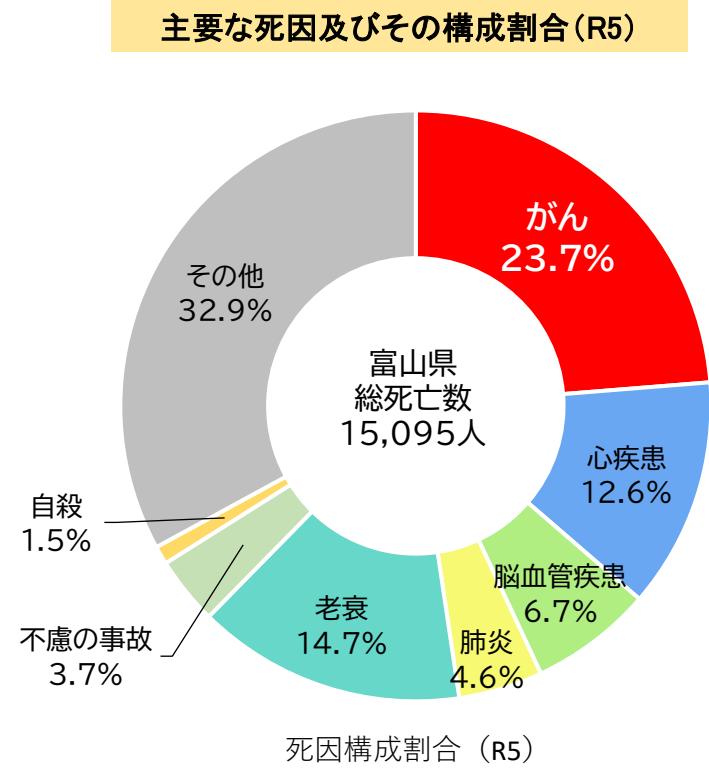
○富山県のがんによる死亡率(人口10万対)は、昭和54年に脳卒中を超え、**死因の第1位**となって以来、増加している。



出典：厚生労働省「人口動態統計」

富山県の死亡原因におけるがんの割合①

- 富山県の総死亡数に占めるがんの割合は約4分の1となっており、年齢別に見ると、50歳、60歳代で約4割である。
- 年代別の主要死因割合では、50代のがんによる死亡の割合が全国値よりも高い。



出典：厚生労働省「人口動態統計」

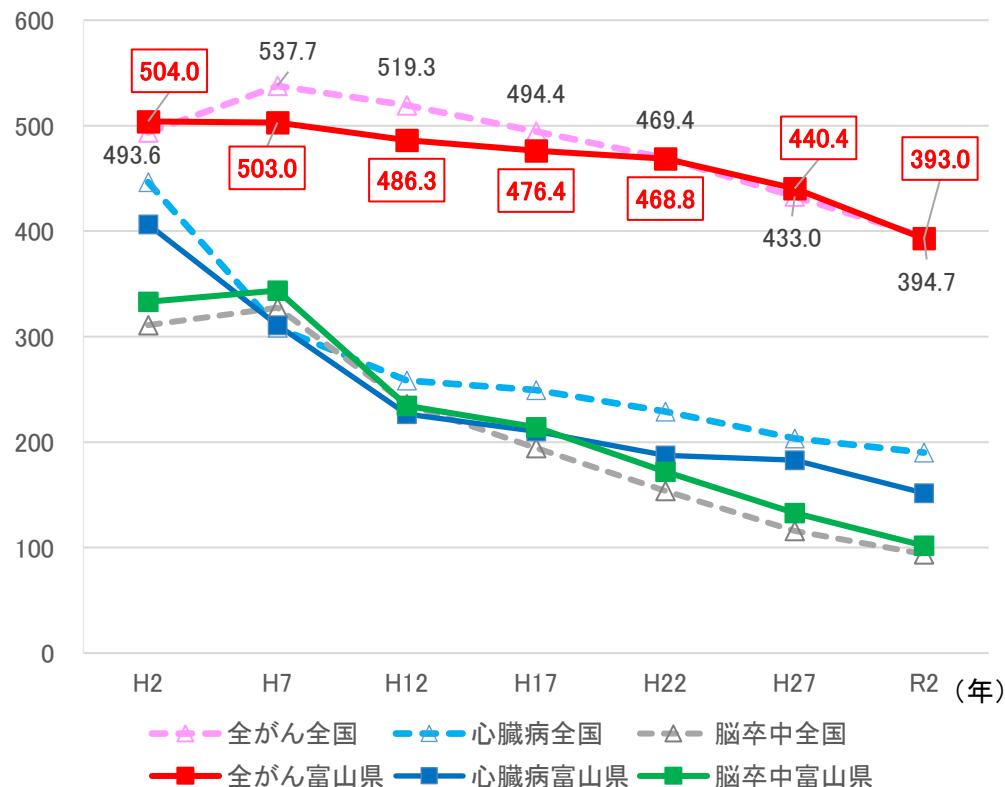
出典：厚生労働省「人口動態統計」

富山県の死亡原因におけるがんの割合②

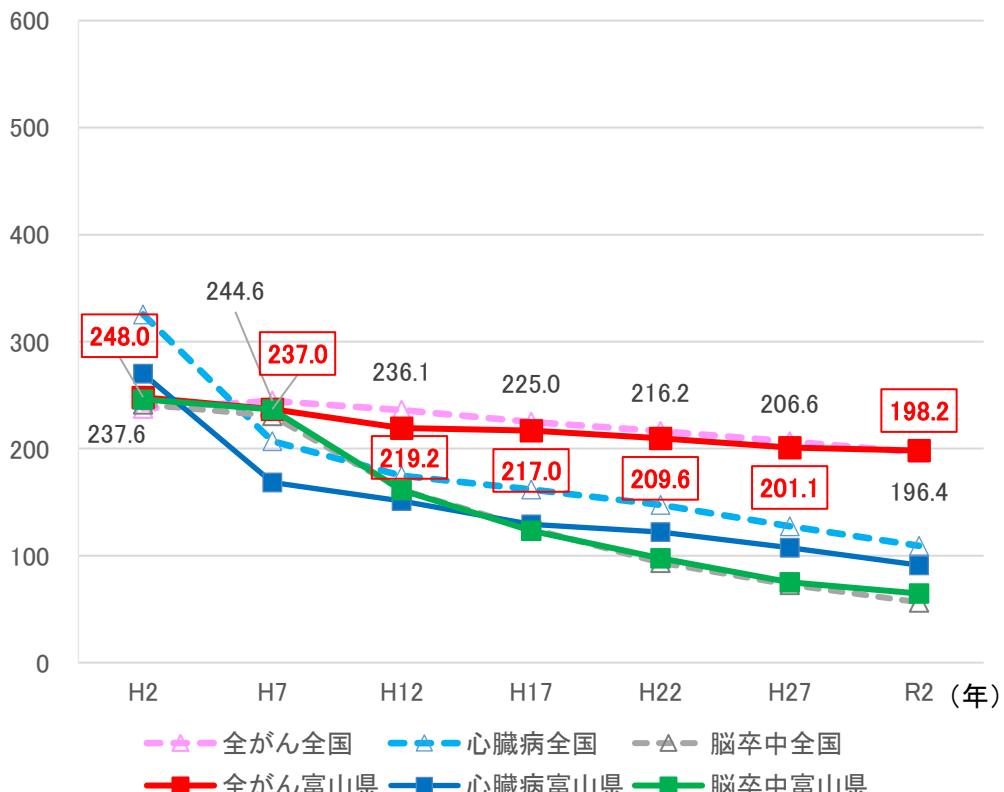
○全がんの年齢調整死亡率は男女ともに概ね減少傾向にある。

主要死因別年齢調整死亡率(人口10万対)の推移

男性



女性

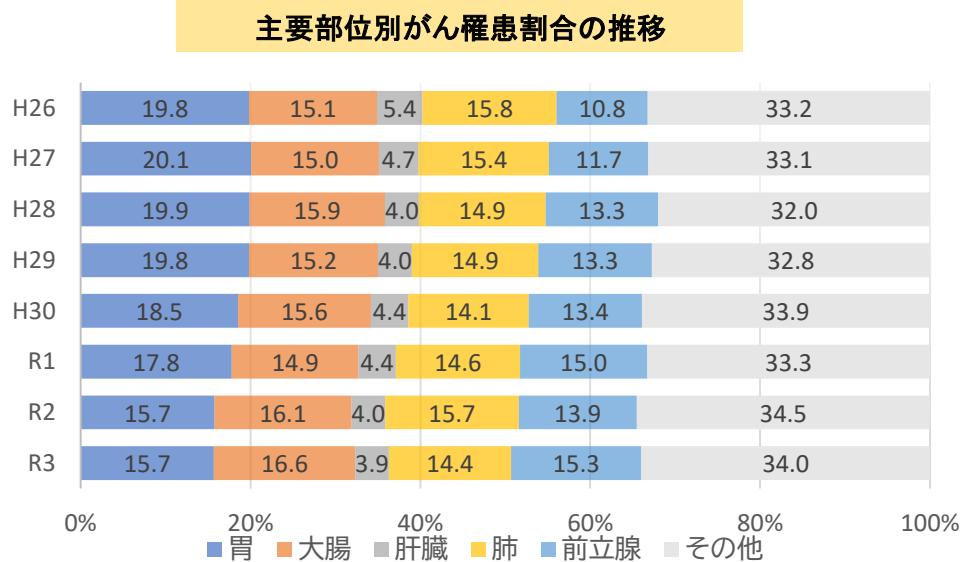


出典：厚生労働省「人口動態統計」「人口動態特殊報告」

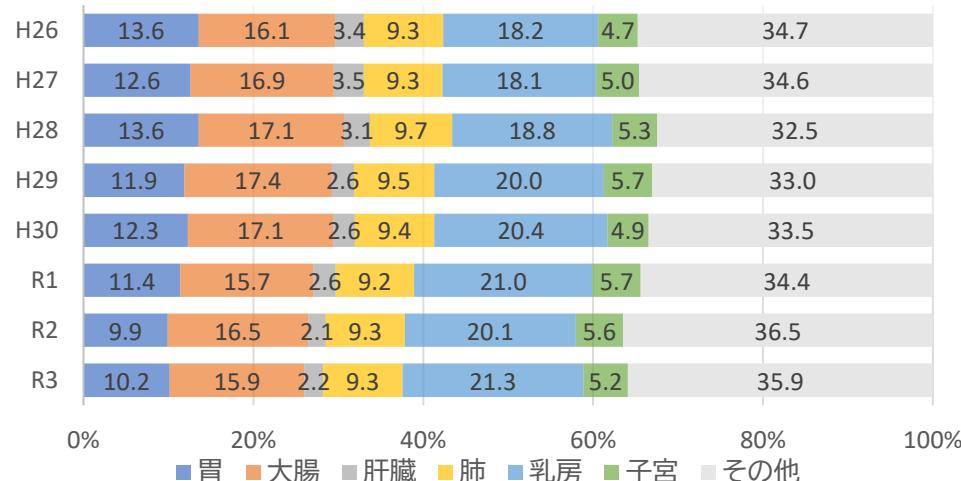
主要部位別がん罹患割合

- 男女ともに胃がんの割合は減少傾向にある。男性の大腸、前立腺がん及び女性の乳がんの割合が増加傾向にある。
- 年齢別にみると、男女とも75歳以上の割合が最も多く、次いで、男性は65～74歳、女性は40～64歳の割合が高い。

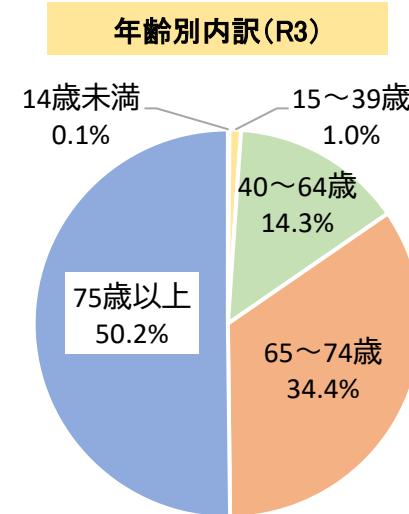
男性



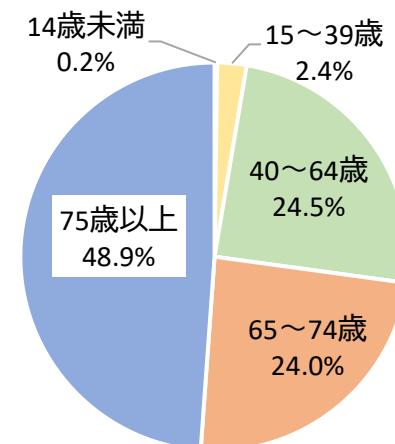
女性



男性



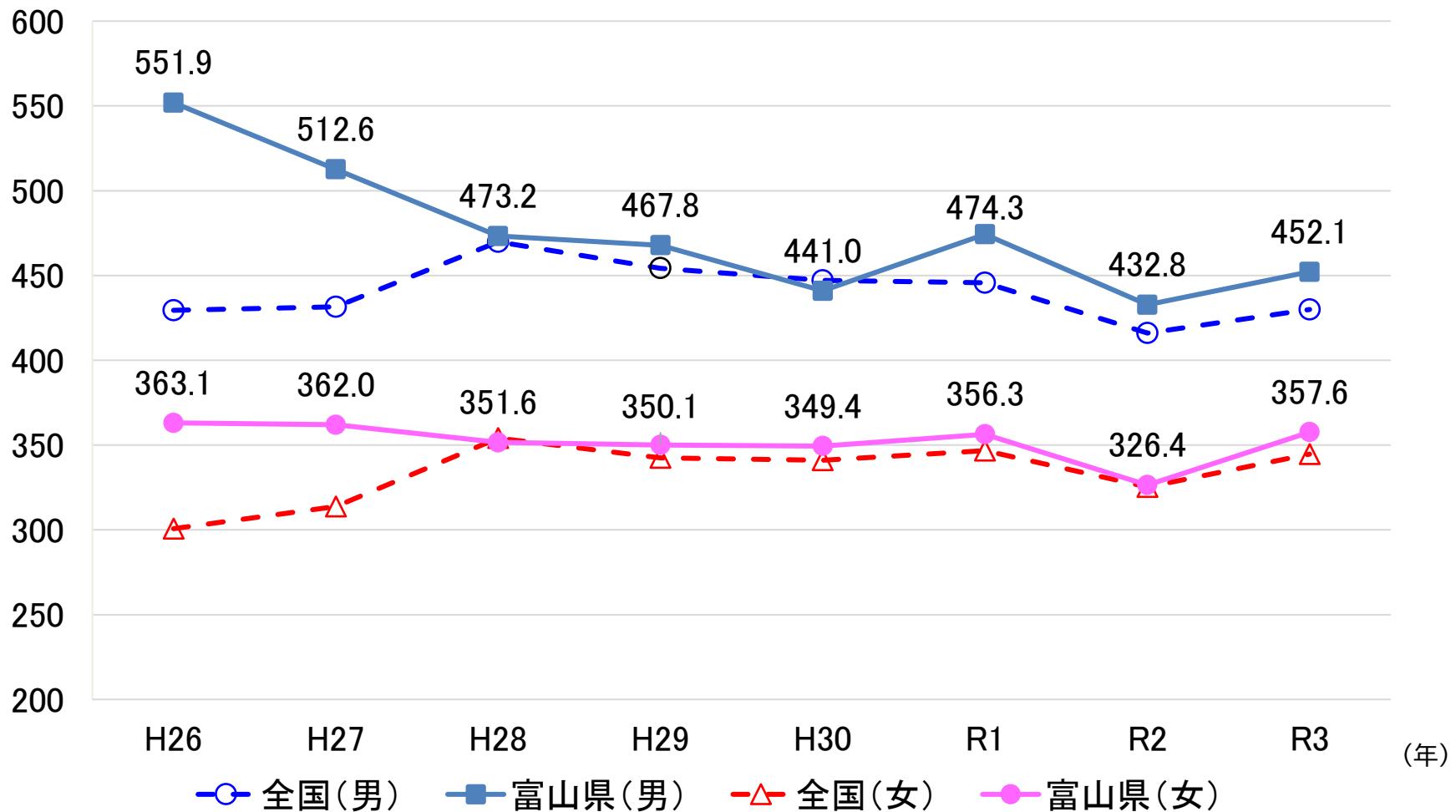
女性



出典：全国モニタリング統計
厚生労働省「全国がん登録罹患数・率報告」

全がんの年齢調整罹患率（人口10万対）

○男女ともに全国値を上回っているが、おおむね減少傾向にある。
※平成28年1月より全国がん登録が開始（医療機関の届出が義務化）



出典：全国がん罹患モニタリング集計
厚生労働省「全国がん登録罹患数・率報告」

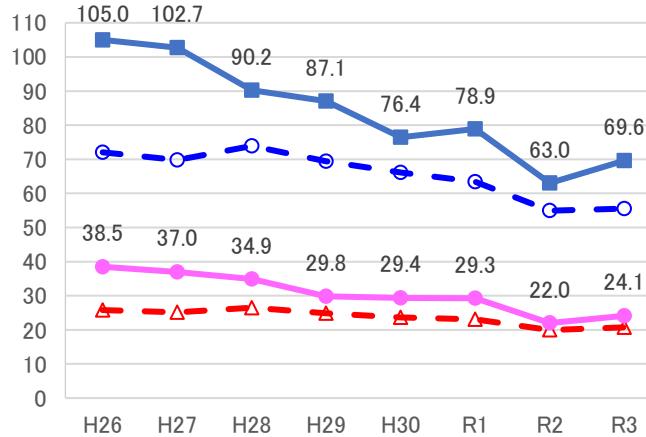
がんの部位別年齢調整罹患率（人口10万対）

○推移をみると、概ね減少傾向にあるが、前立腺がん、男性の肺臓がんは横ばいで、女性のすい臓がんは増加傾向にある。

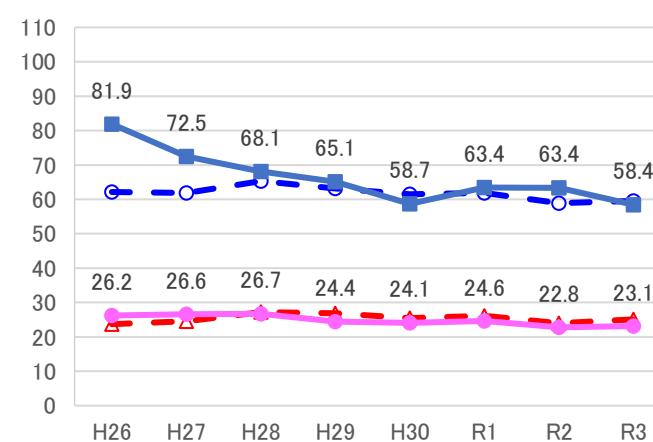
○胃がん（男女）、肺臓がん（男女）、大腸がん（男性）において全国値を上回っている。(R3)

【凡例】
 ...●... 全国(男)
 ——●— 富山(男)
 ...▲... 全国(女)
 ——●— 富山(女)

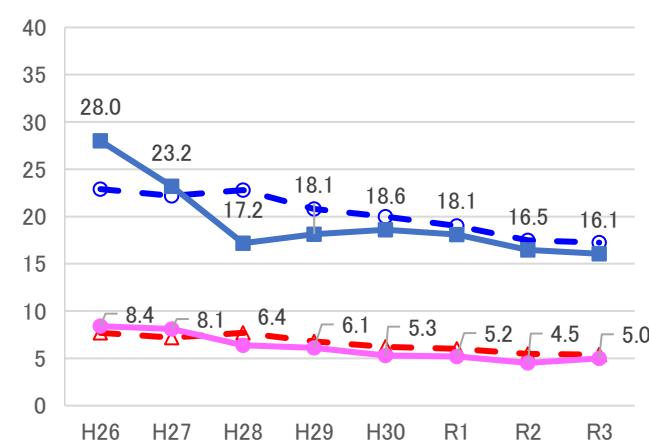
胃がん



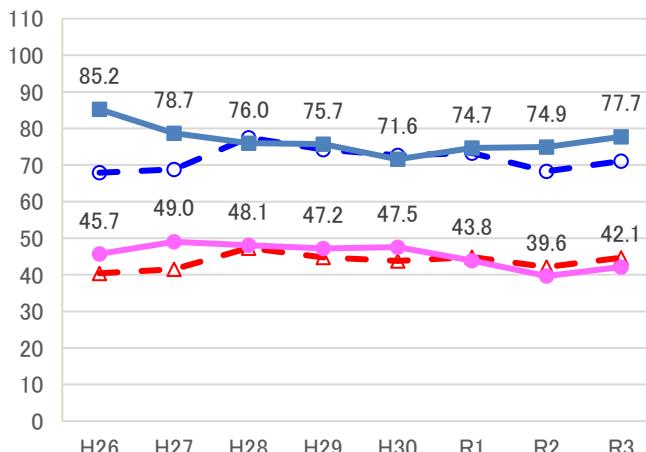
肺がん



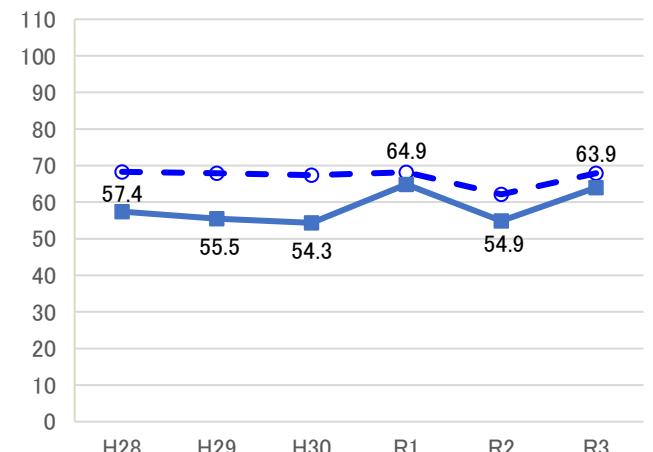
肝がん



大腸がん



前立腺がん



肺臓がん

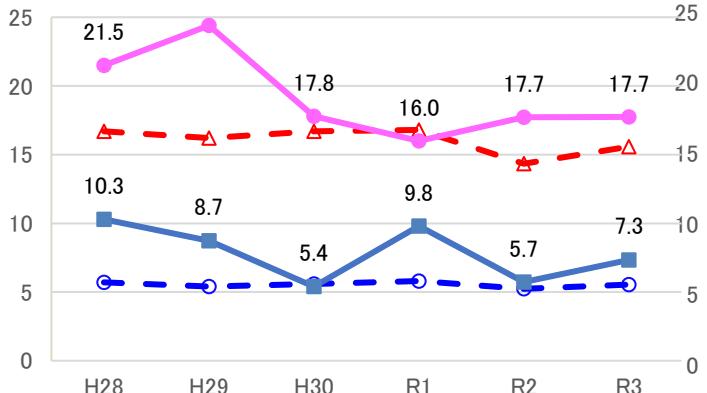


がんの部位別年齢調整罹患率（人口10万対）

- 推移をみると、概ね横ばいであるが、男性の膀胱がんは増加傾向にある。
- ほとんどのがん種で全国値を上回っている。(R3)

【凡例】
 全国(男)：青い点線
 富山(男)：青い四角
 全国(女)：赤い△
 富山(女)：ピンクの星

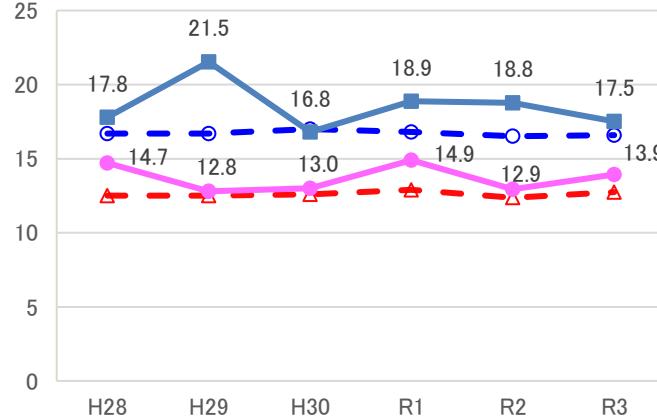
甲状腺がん



腎臓(腎・尿路)がん



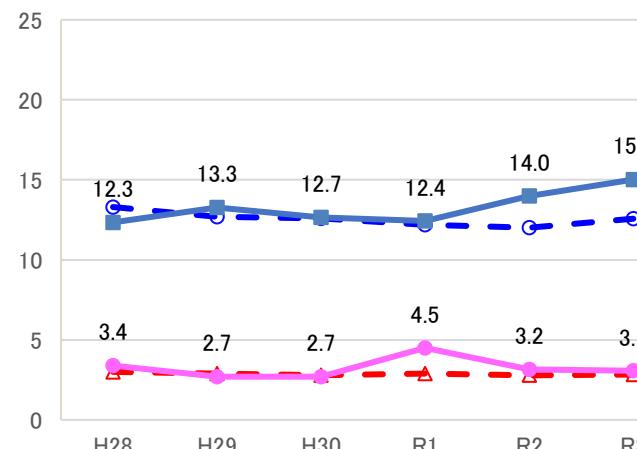
悪性リンパ腫



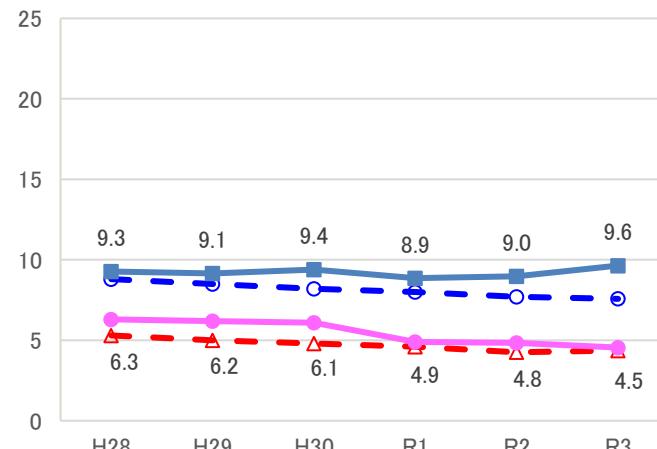
食道がん



膀胱がん



胆のうがん

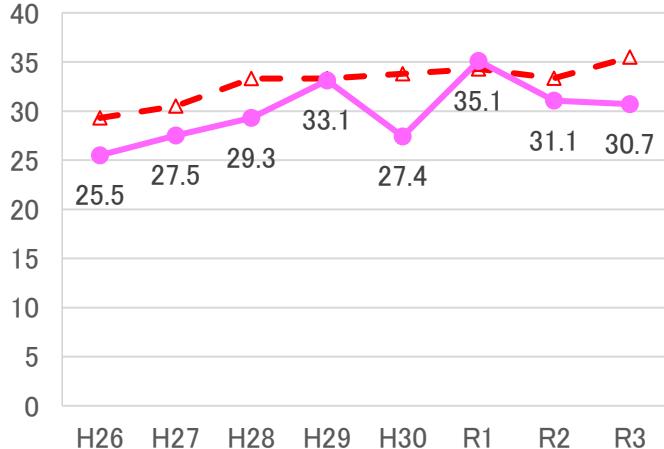


がんの部位別年齢調整罹患率（女性がん）（人口10万対）

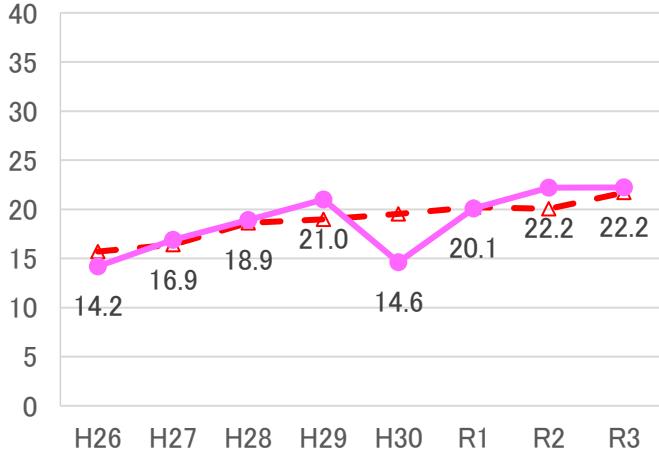
- 推移をみると、子宮体がん、乳がん、卵巣がんは増加傾向、子宮頸がんは横ばいである。
- 子宮体がん、乳がん、卵巣がんにおいて全国値を上回っている。(R3)

【凡例】
 全国(男)：黒い点線
 富山(男)：青い点線
 全国(女)：赤い点線
 富山(女)：ピンクの実線

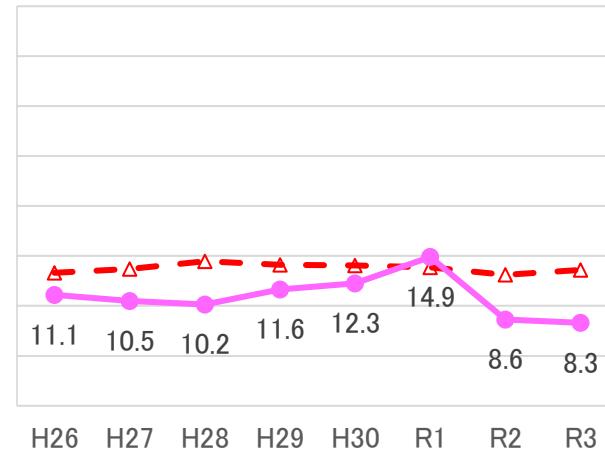
子宮がん(子宮体+子宮頸)



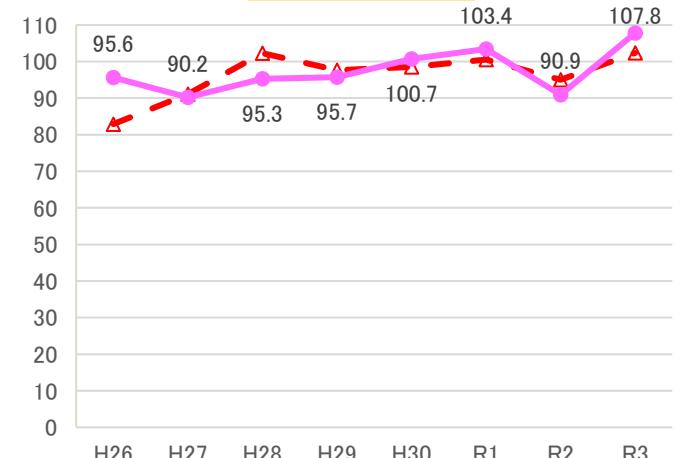
(子宮体部)



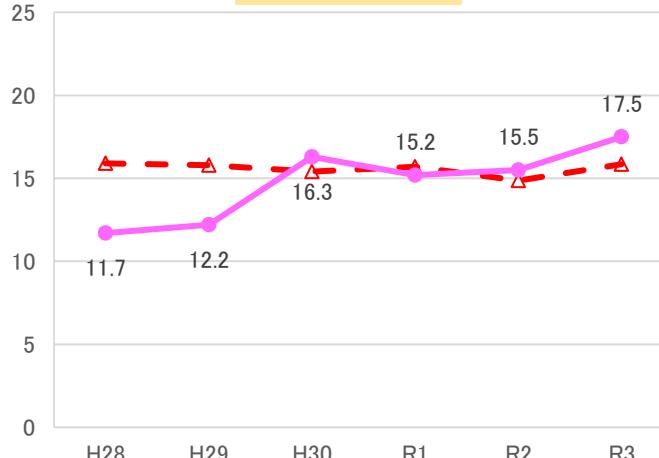
(子宮頸部)



乳がん



卵巣がん



がんの部位別年齢調整罹患率（人口10万対）全国順位

- 男性では**胃、大腸、肺臓、胆のう、膀胱がん**が全国下位である（**罹患率が高い**）。（R3）
- 女性では**乳、肺臓、卵巣がん**が全国下位である。（**罹患率が高い**）。（R3）
- 子宮頸がんは全国上位である（**罹患率が低い**）。（R3）

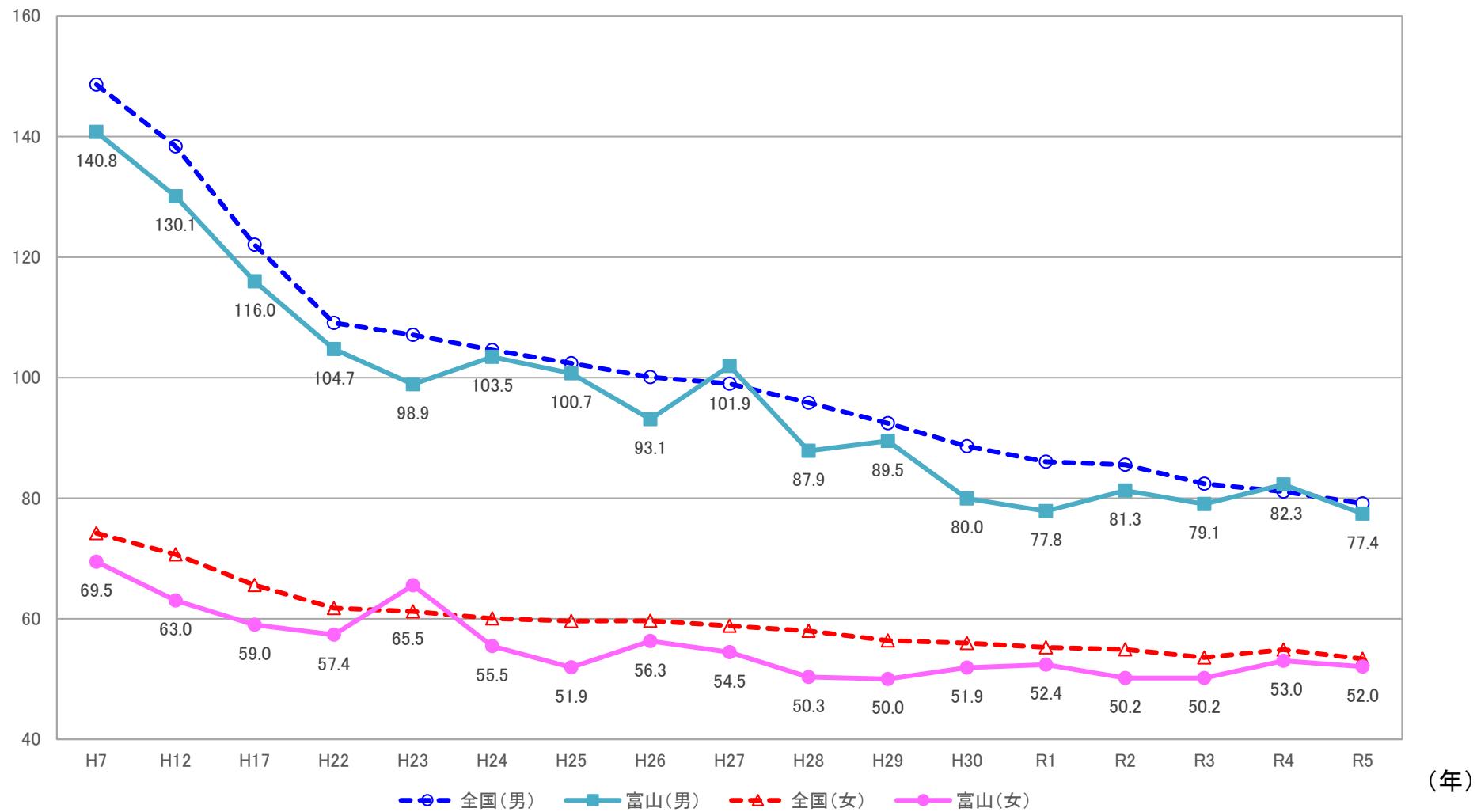


R3	胃がん (男女計)	肺がん (男女計)	肝がん (男女計)	大腸 がん (男女計)	乳がん (女)	子宮 体がん (女)	子宮 頸がん (女)	肺臓 がん (男女計)	前立腺 がん (男)	食道 がん (男女計)	胆のう がん (男女計)	悪性リ ンパ腫 (男女計)	膀胱 がん (男女計)	卵巣 がん (女)
1位	沖縄県	沖縄県	山形県	香川県	山口県	福井県	山形県	沖縄県	新潟県	三重県	奈良県	宮崎県	宮崎県	徳島県
2位	鹿児島 県	長野県	新潟県	大分県	岐阜県	京都府	富山県	福井県	青森県	沖縄県	三重県	福島県	沖縄県	石川県
3位	宮崎県	栃木県	長野県	宮崎県	三重県	高知県	滋賀県	岩手県	福井県	岩手県	広島県	鹿児島 県	徳島県	鹿児島 県
4位	熊本県	静岡県	愛知県	熊本県	鹿児島 県	石川県	福井県	鹿児島 県	徳島県	岐阜県	兵庫県	茨城県	高知県	三重県
5位	山梨県	山梨県	静岡県	滋賀県	福島県	山口県	宮城県	茨城県	沖縄県	石川県	大阪府	青森県	鳥取県	宮崎県
富山県 順位	40位 <small>男40位 女36位</small>	15位 <small>男21位 女15位</small>	13位 <small>男15位 女15位</small>	36位 <small>男42位 女12位</small>	45位	31位	2位	44位 <small>男42位 女47位</small>	14位	27位 <small>男29位 女14位</small>	38位 <small>男43位 女28位</small>	35位 <small>男31位 女35位</small>	45位 <small>男45位 女32位</small>	40位
43位	宮城県	愛媛県	山梨県	宮城県	高知県	島根県	福岡県	高知県	栃木県	宮城県	新潟県	福井県	広島県	鳥取県
44位	福島県	大阪府	鳥取県	北海道	沖縄県	岩手県	長崎県	富山県	香川県	和歌山 県	福井県	香川県	奈良県	奈良県
45位	秋田県	長崎県	高知県	長崎県	富山県	熊本県	熊本県	岡山県	山口県	鳥取県	山形県	広島県	富山県	北海道
46位	山形県	北海道	大分県	青森県	神奈川 県	沖縄県	青森県	和歌山 県	鹿児島 県	島根県	秋田県	鳥取県	秋田県	山形県
47位	新潟県	石川県	佐賀県	秋田県	東京都	青森県	鹿児島 県	北海道	島根県	東京都	青森県	石川県	青森県	青森県

出典：厚生労働省「全国がん登録罹患数・率報告」

全がんの75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）

○男女ともに概ね減少傾向にあるが、直近5年間程度は横ばいである。



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）

がんの部位別75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）

○5大がん及び肝がんについては、概ね減少傾向にあるが、**大腸がん、子宮がん**において近年やや増加傾向にある。

【凡例】

●●● 全国(男)

■■■ 富山(男)

●●● 全国(女)

■■■ 富山(女)

胃がん

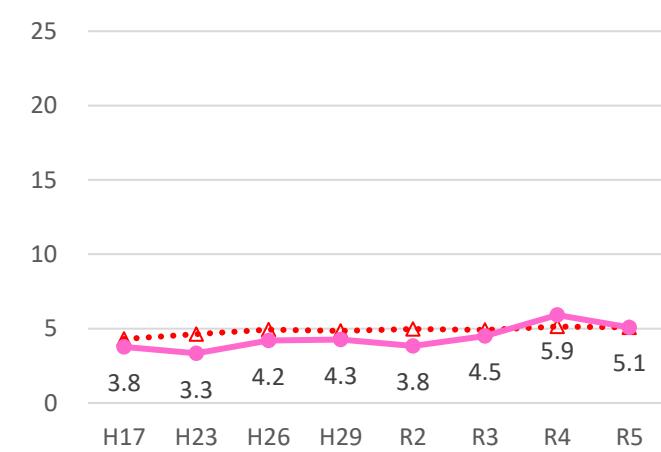
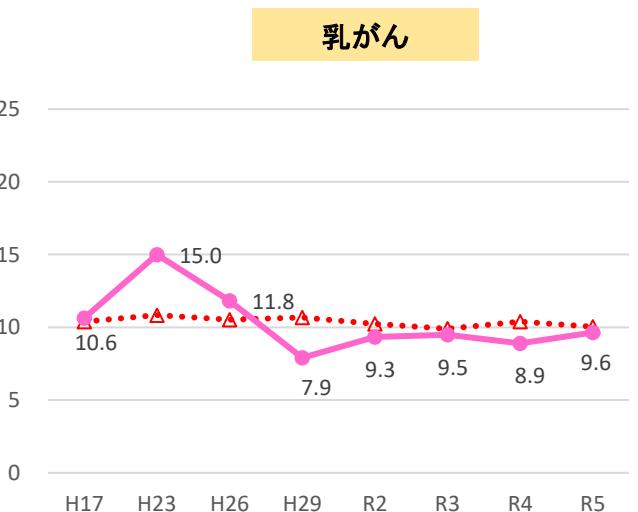
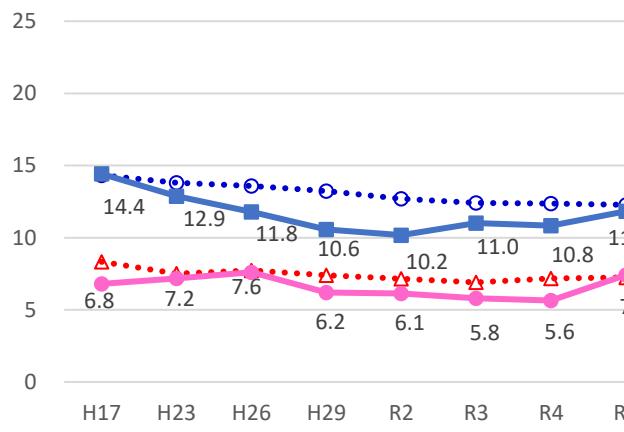
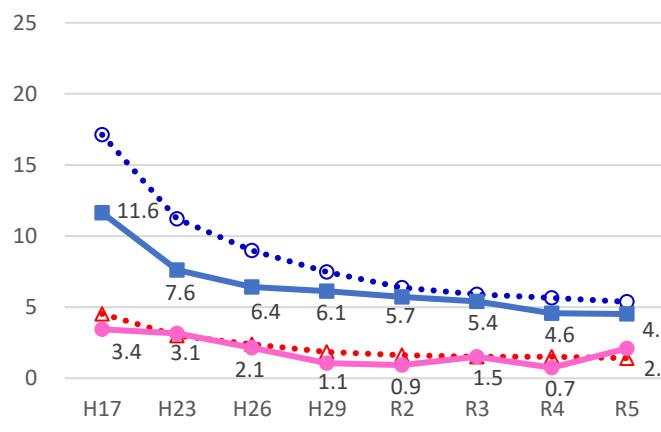
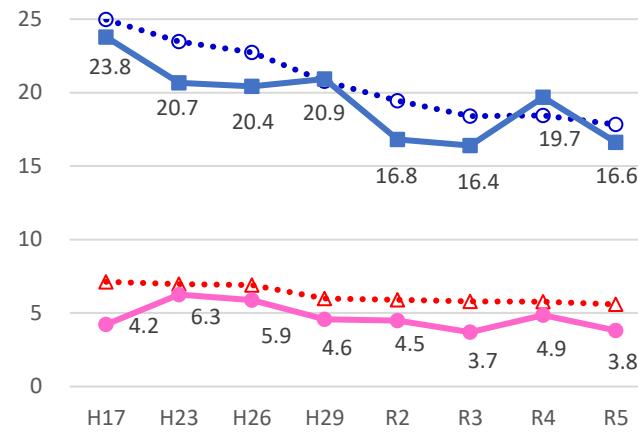
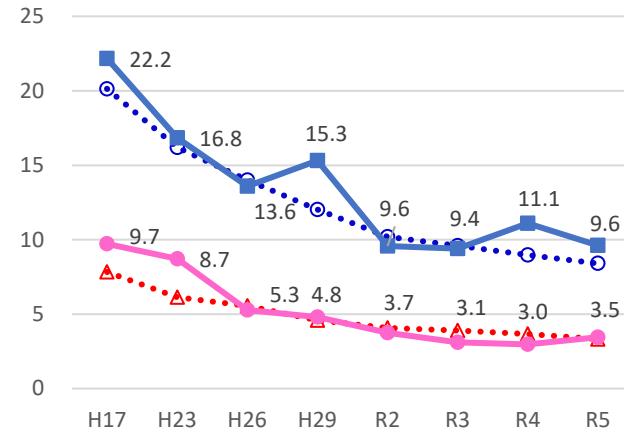
肺がん

肝がん

大腸がん

乳がん

子宮がん



がんの部位別75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）

○5大がん以外のがん種については、概ね横ばいの傾向である。

○男性の食道がんは減少傾向である。

【凡例】

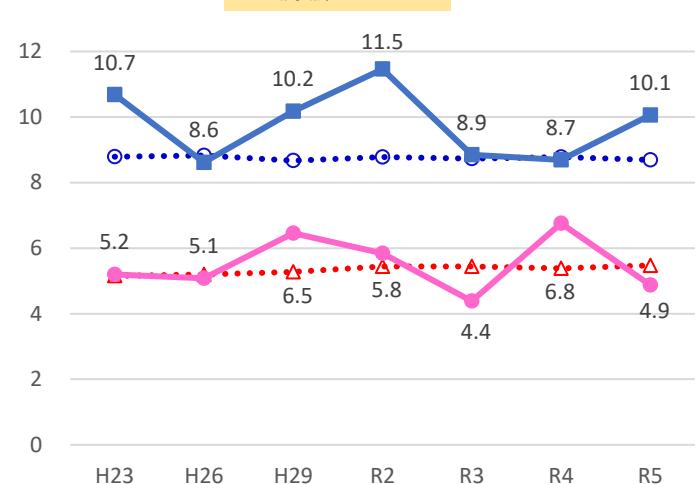
●・○ 全国(男)

■ 富山(男)

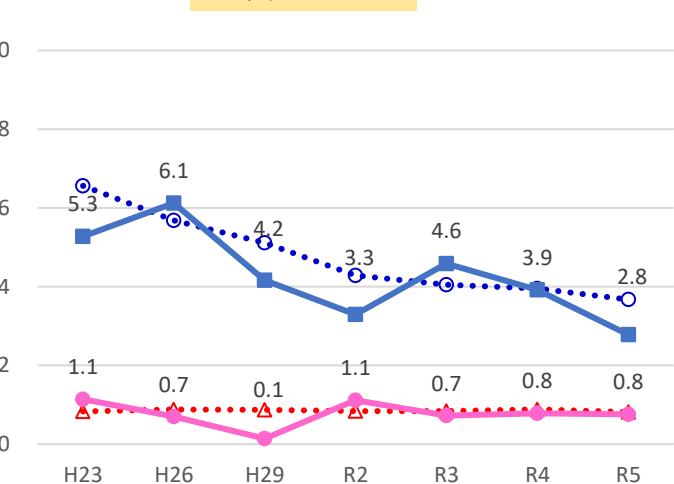
●・△ 全国(女)

■ 富山(女)

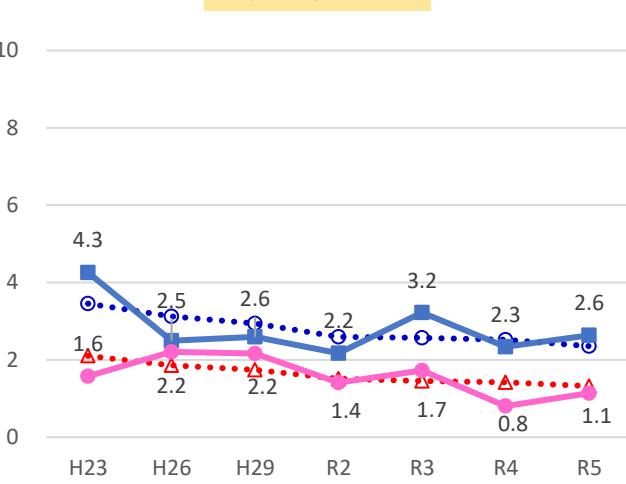
膵臓がん



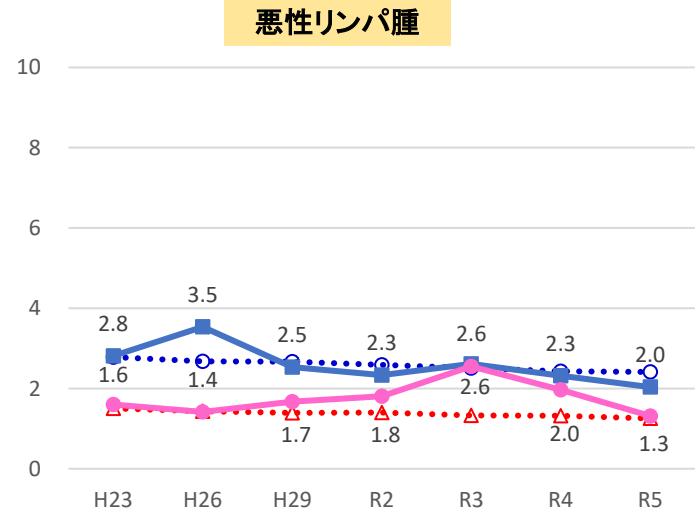
食道がん



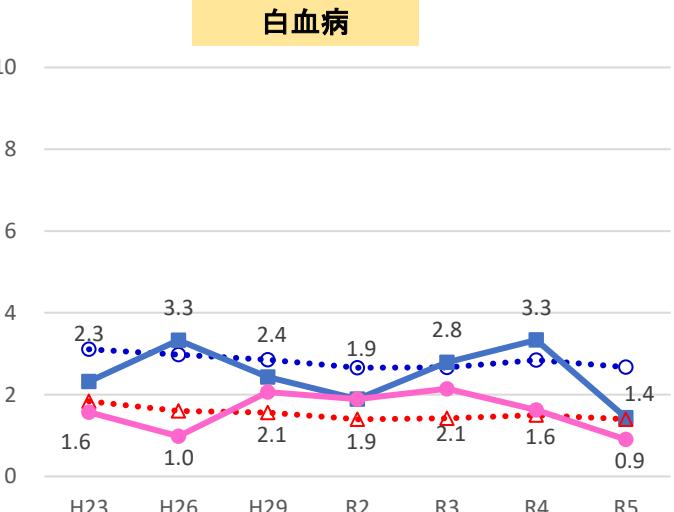
胆のうがん



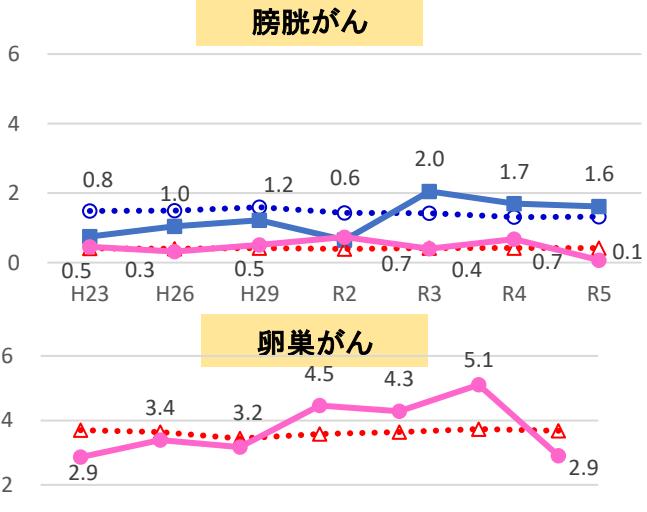
悪性リンパ腫



白血病



膀胱がん



卵巣がん



がんの部位別75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）全国順位

○肺がん、白血病、卵巣がんは全国上位である（死亡率が低い）。(R5)

○男性では胃がん、膵臓がん、膀胱がんが全国下位である（死亡率が高い）。(R5)



R5	胃がん (男女計)	肺がん (男女計)	肝がん (男女計)	大腸 がん (男女計)	乳がん (女)	子宮 がん (女)	膵臓 がん (男女計)	食道 がん (男女計)	胆のう がん (男女計)	悪性リン パ腫 (男女計)	膀胱 がん (男女計)	白血病 (男女計)	卵巣 がん (女)
1位	沖縄県	長野県	奈良県	香川県	滋賀県	石川県	滋賀県	石川県	広島県	高知県	福井県	香川県	鳥取県
2位	熊本県	山梨県	滋賀県	山形県	福井県	福井県	鳥取県	鳥取県	滋賀県	山口県	奈良県	富山県	島根県
3位	長野県	山形県	石川県	熊本県	島根県	滋賀県	徳島県	長野県	静岡県	長崎県	愛媛県	山形県	京都府
4位	鹿児島県	奈良県	新潟県	滋賀県	三重県	秋田県	長野県	山形県	岡山県	鳥取県	佐賀県	新潟県	岡山県
5位	島根県	富山県	長野県	山梨県	徳島県	奈良県	群馬県	岐阜県	奈良県	熊本県	大分県	鳥取県	富山県
富山県 順位	35位 <small>男37位 男15位 女25位</small>	5位 <small>男15位 女2位</small>	15位 <small>男9位 女45位</small>	27位 <small>男22位 女30位</small>	18位	26位	35位 <small>男43位 女6位</small>	9位 <small>男4位 女23位</small>	28位 <small>男34位 女18位</small>	15位 <small>男13位 女26位</small>	17位 <small>男37位 女1位</small>	2位 <small>男2位 女2位</small>	5位
43位	高知県	大阪府	青森県	秋田県	沖縄県	栃木県	秋田県	宮崎県	新潟県	青森県	北海道	熊本県	秋田県
44位	山形県	香川県	福岡県	栃木県	福島県	茨城県	北海道	福岡県	三重県	新潟県	秋田県	佐賀県	高知県
45位	青森県	宮城県	大分県	岩手県	山口県	岩手県	宮城県	沖縄県	愛媛県	山梨県	石川県	大分県	岐阜県
46位	岩手県	北海道	宮崎県	沖縄県	長崎県	宮崎県	福井県	新潟県	徳島県	愛媛県	青森県	鹿児島県	佐賀県
47位	秋田県	青森県	愛媛県	青森県	青森県	青森県	島根県	青森県	青森県	岩手県	和歌山県	岩手県	山形県

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）

がんの部位別粗死亡率（人口10万対）

○男女ともに胃、大腸がんについて、全国値を大きく上回っている。

○男性では肺がんが全国値を大きく上回っている。(R5)

○肺、大腸、乳、子宮がんについて、増加傾向にあり、胃、肝がんについて減少傾向にある。

【凡例】

● 全国(男)

■ 富山(男)

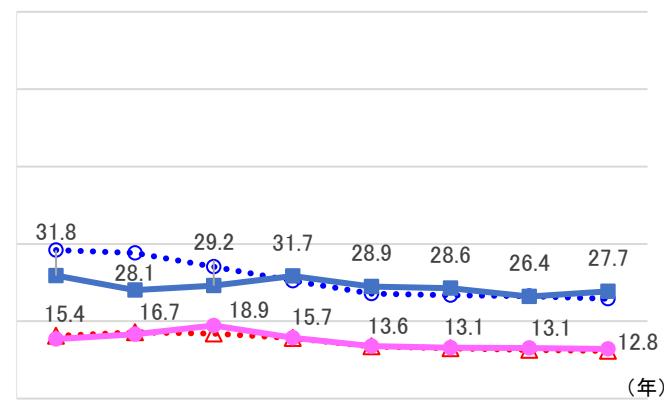
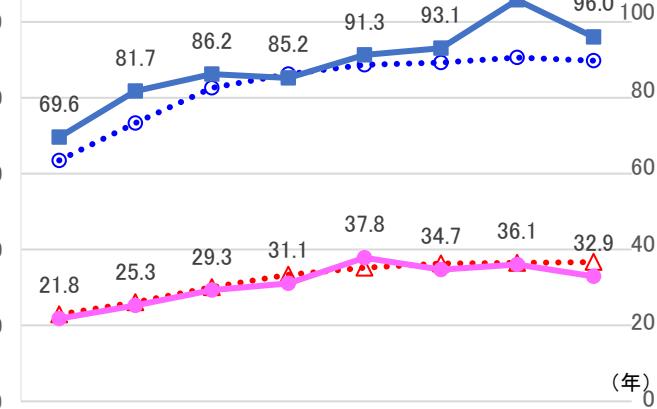
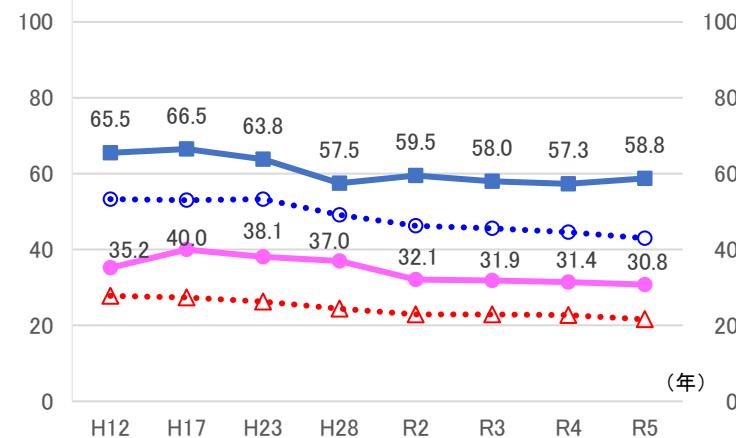
● 全国(女)

■ 富山(女)

胃がん

肺がん

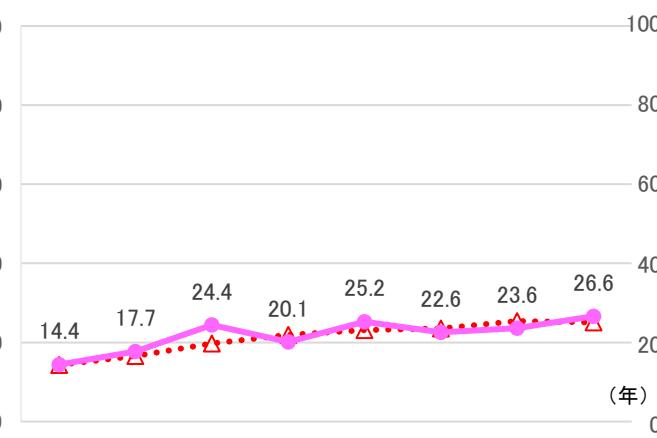
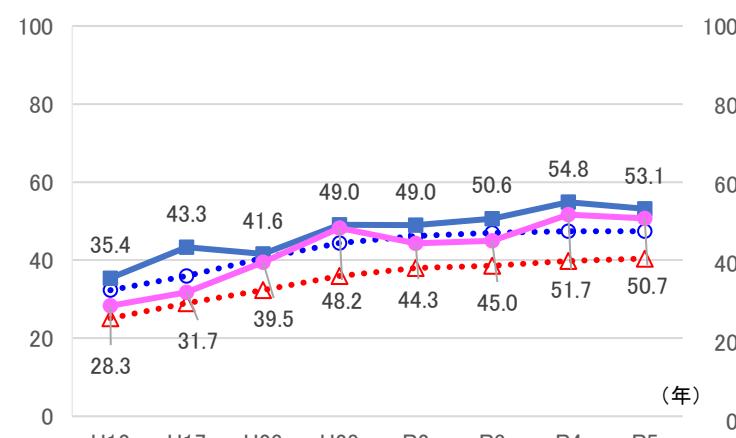
肝がん



大腸がん

乳がん

子宮がん



出典：厚生労働省「人口動態統計」

働く世代（40～64歳）のがん死亡率（人口10万対）

○年によってばらつきはあるが、概ね横ばいである。

【凡例】

●・○ 全国(男)

■・□ 富山(男)

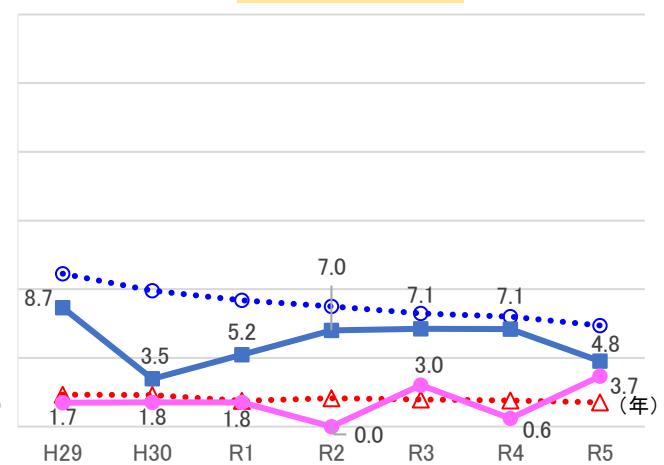
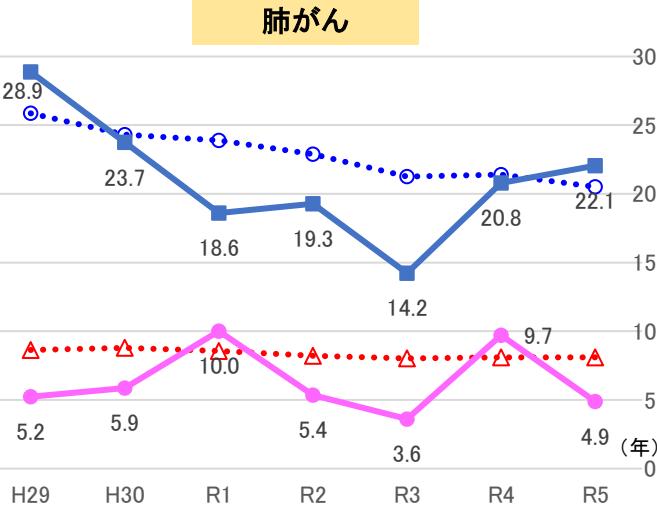
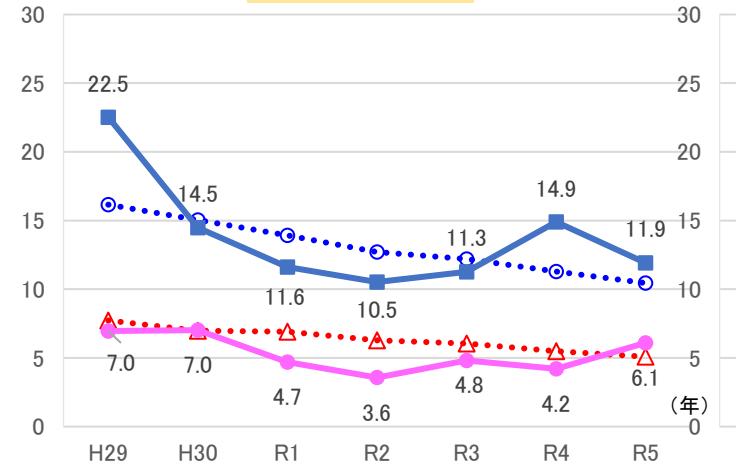
●・△ 全国(女)

■・△ 富山(女)

胃がん

肺がん

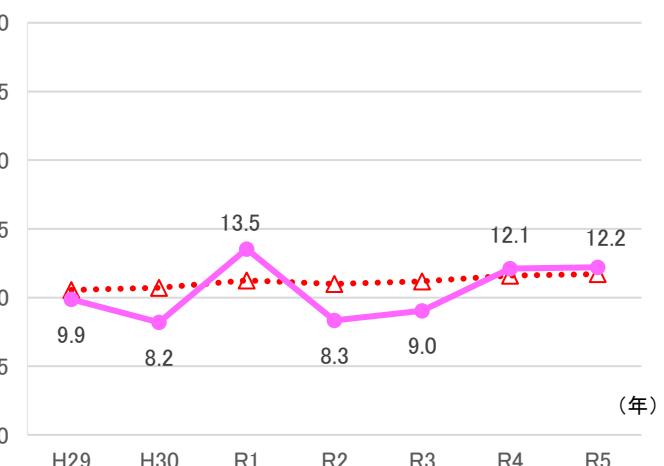
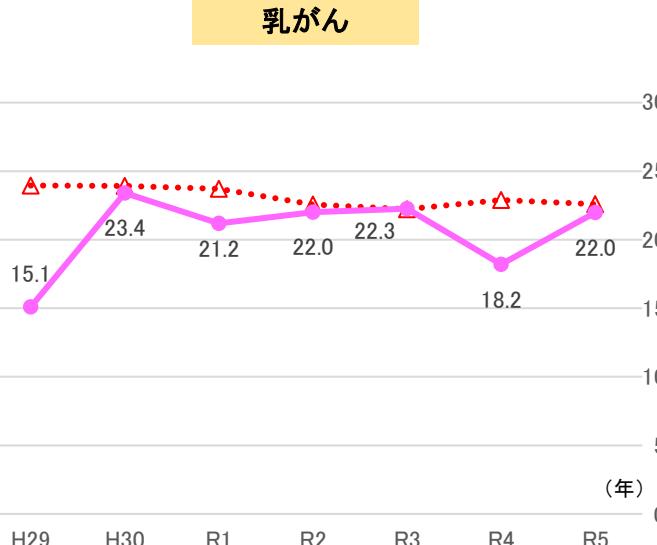
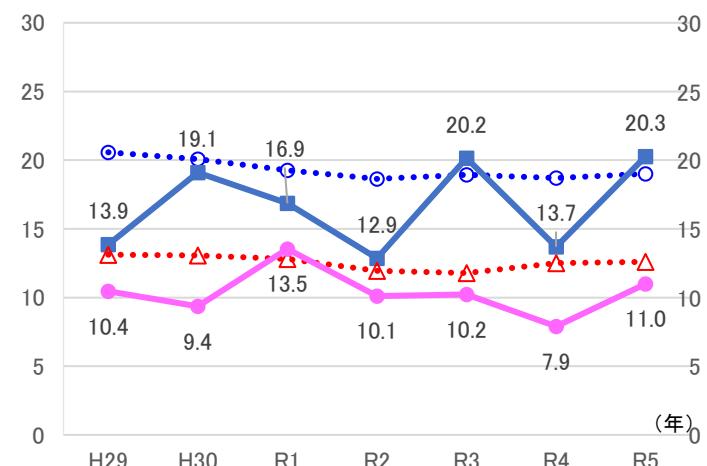
肝がん



大腸がん

乳がん

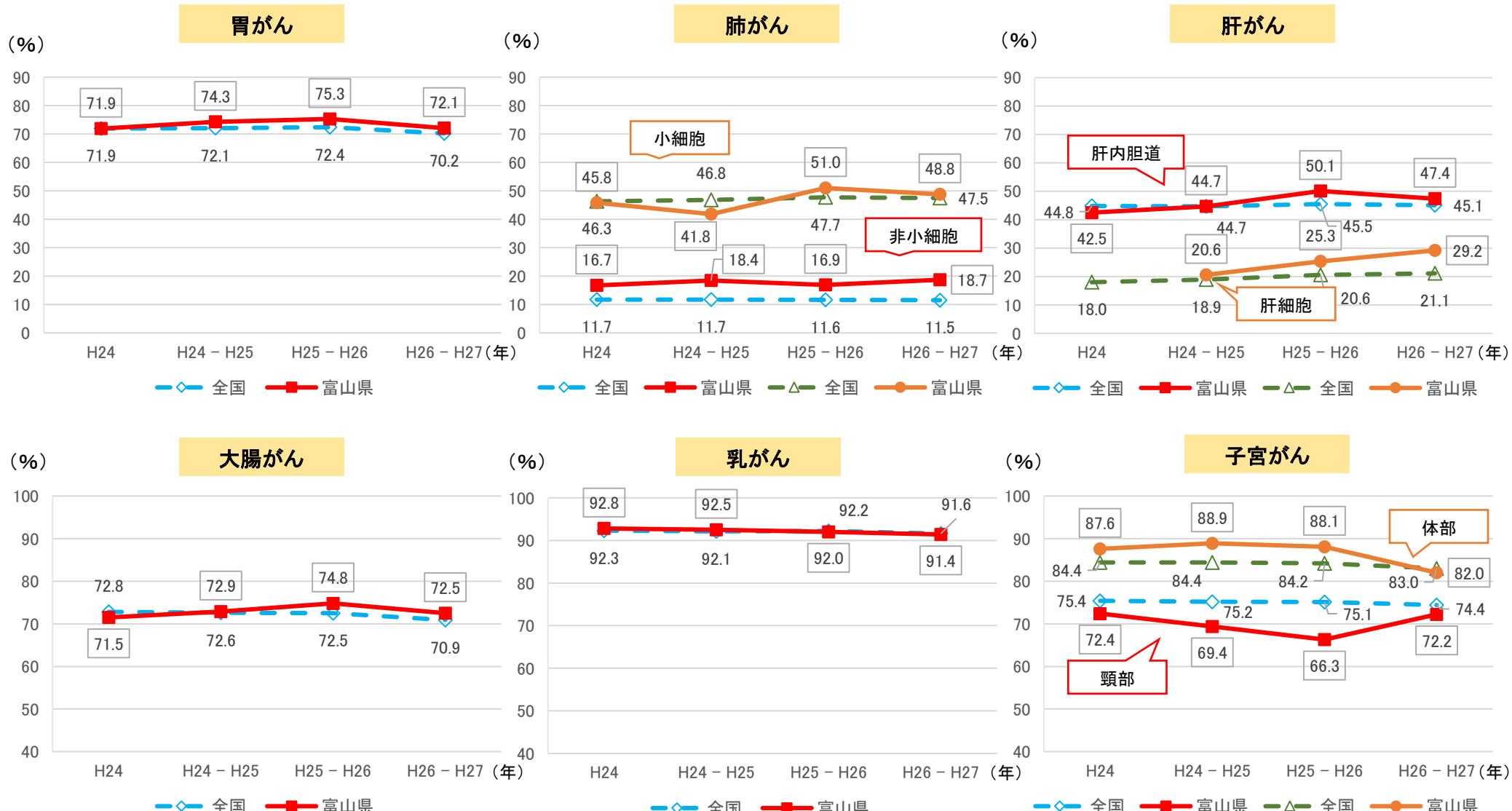
子宮がん



出典：厚生労働省「人口動態統計」

がんの部位別 5年相対生存率 (%) (院内がん登録)

- 概ね横ばいの傾向だが、**肝細胞がん**においては**上昇傾向**にある。
- ほとんどのがん種において、全国値を上回っているが、**子宮頸がん**については、**全国値を下回っている**。



がんの部位別 5年相対生存率（%）（全国がん登録）

○全国がん登録とは日本でがんと診断されたすべての人のデータを、国で1つにまとめて集計・分析・管理する制度で、平成28年1月に施行されました。

○今回、全国がん登録制度が開始されてから初めての5年生存率データ(H28症例)が提供されました。

富山県の部位別がん5年相対生存率(H28症例)

部位	男	女	男女計
全部位	62.3	64.9	63.4
胃	71.4	61.2	67.8
大腸(結腸・直腸)	70.8	70.7	70.8
肺	37.6	53.1	42.6
肝および肝内胆管	33.2	31.4	31.9
乳房	*	93.0	93.1
子宮		71.2	71.2
(子宮頸部)		62.9	62.9
(子宮体部)		75.2	75.2
口腔・咽頭	72.7	63.5	69.3
膵臓	15.0	11.3	13.4

*集計対象数が10未満のため非公表

※出典：全国がん登録（H28症例）

がんの部位別 5年相対生存率 (%) (全国がん登録)

富山県の部位別がん5年相対生存率(H28症例)

部位	男	女	男女計
食道	32.1	45.7	36.0
胆のう・胆管	26.9	21.4	24.3
喉頭	74.3	*	77.1
皮膚	87.5	90.0	89.8
卵巣		54.5	54.5
前立腺	92.8		92.8
膀胱	73.4	54.6	68.1
腎・尿路(膀胱除く)	58.4	59.9	58.9
脳・中枢神経系	38.3	49.3	43.0
甲状腺	96.3	87.4	90.8
悪性リンパ腫	65.0	64.7	64.9
多発性骨髓腫	42.4	26.1	37.3
白血病	49.2	49.5	49.1

*集計対象数が10未満のため非公表

※出典：全国がん登録 (H28症例)

計画指標 (市町村・職域) がん検診受診率 (富山県) ※年齢上限あり

- 全ての部位において、**目標値(60%)に達していない**。(第4期計画で目標値を50%⇒60%に引き上げている。)
- 肺、大腸、乳がん**は増加している(改善傾向にある)ものの、**胃がんや子宮頸がん**については、**減少傾向**にある。

(%)

目標値

60

50

40

30

H25

H28

R1

R4

(年)

● 胃がん

✖ 肺がん

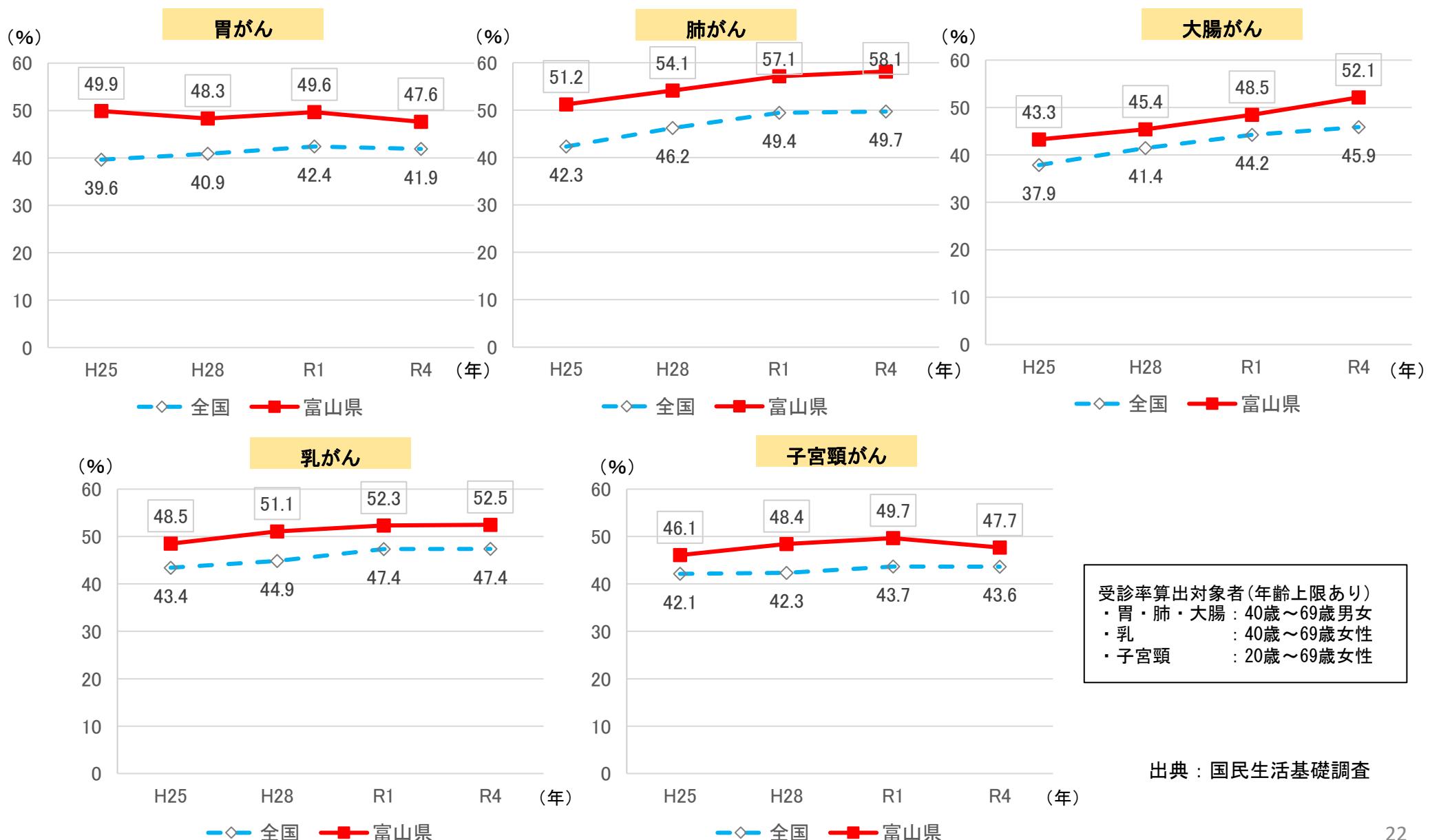
▲ 大腸がん

■ 乳がん

● 子宮頸がん

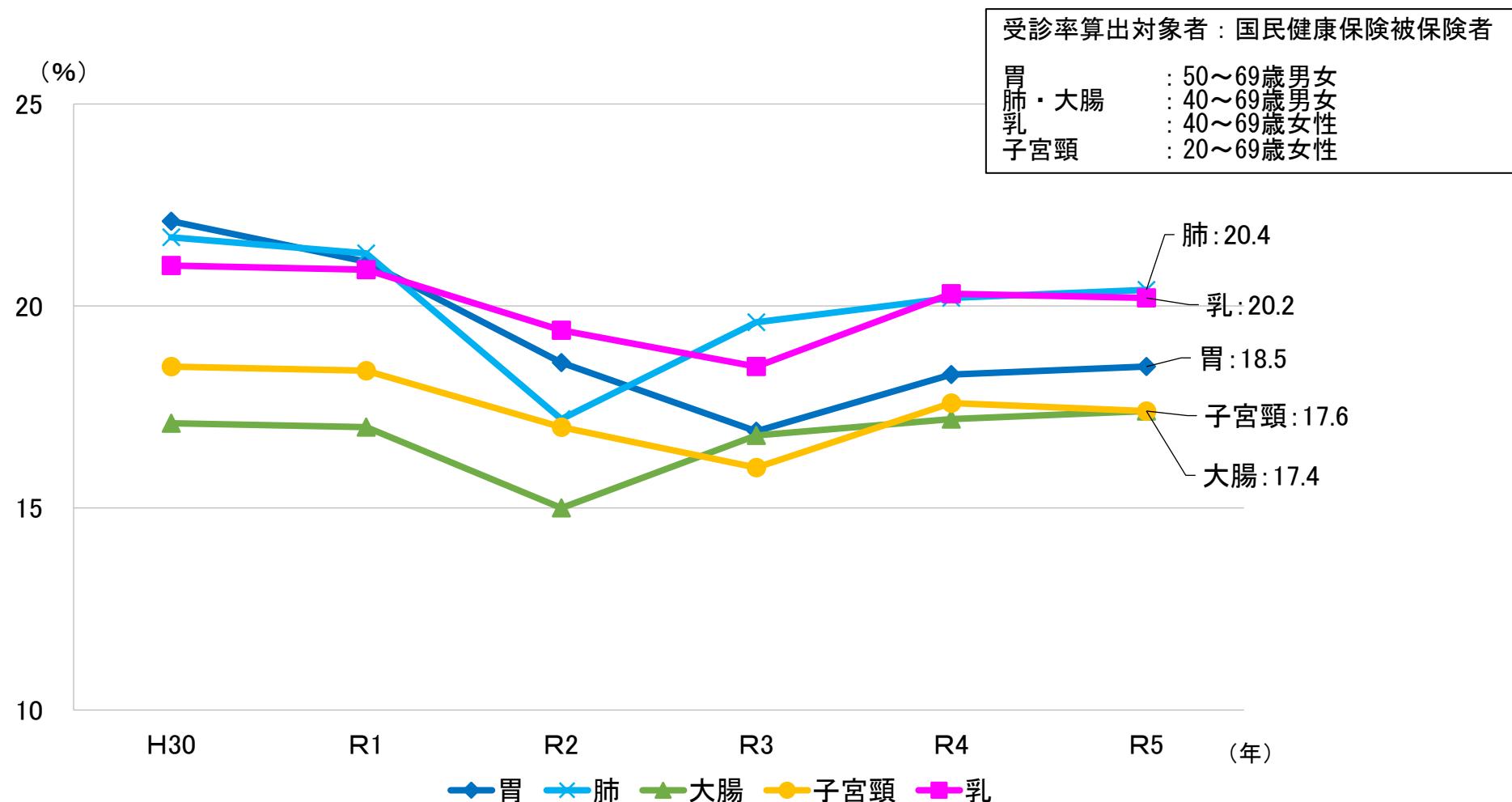
受診率算出対象者(年齢上限あり)
 ・胃・肺・大腸：40歳～69歳男女
 ・乳：40歳～69歳女性
 ・子宮頸：20歳～69歳女性

○全ての部位において、**全国値より上回っているが、目標値(60%)に達していない。**



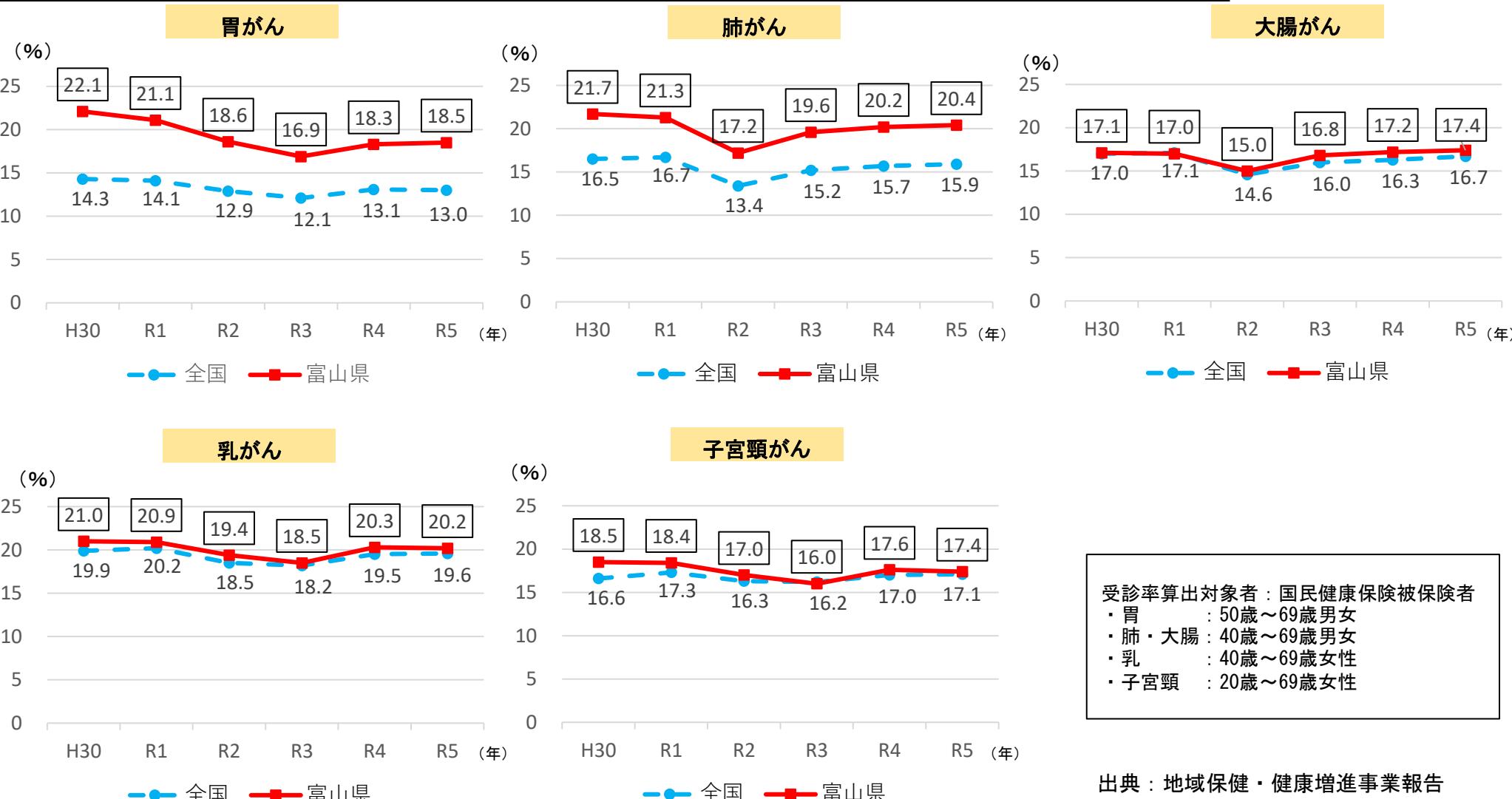
(市町村) がん検診受診率 (富山県)

○令和2年度には新型コロナ感染症の影響と思われる受診控えにより、いずれのがん種の検診受診率も低下している。
令和3年度から4年度にかけて回復傾向にあったが、**令和5年度は停滞している。**



(市町村) がん検診受診率 (部位別全国比較)

- すべての部位において、コロナ禍の受診控え(R2～R3)から受診率が回復傾向にある。
- 大腸がんを除き、コロナ禍前の水準には戻っていない。(R5)



受診率算出対象者：国民健康保険被保険者
 ・胃 : 50歳～69歳男女
 ・肺・大腸 : 40歳～69歳男女
 ・乳 : 40歳～69歳女性
 ・子宮頸 : 20歳～69歳女性

出典：地域保健・健康増進事業報告

○早期がん発見率は横ばいである。

○肺がん、子宮がんにおいては全国値を上回っている。(R3)

